

シューズバッグ 高さ 27cm、幅 17cm、マチ 6 cm

作りたいバッグの寸法を記入

- レシピは切替あり・マチありを参照してください。
- 裏袋は基本の寸法で計算し、表袋は「布を切り替える際の布の配分」を使います。

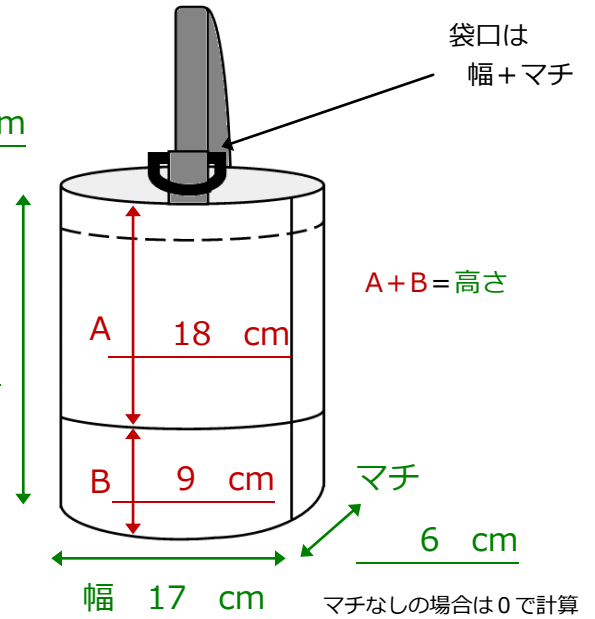


持ち手

10cm と 30cm

高さ

27 cm



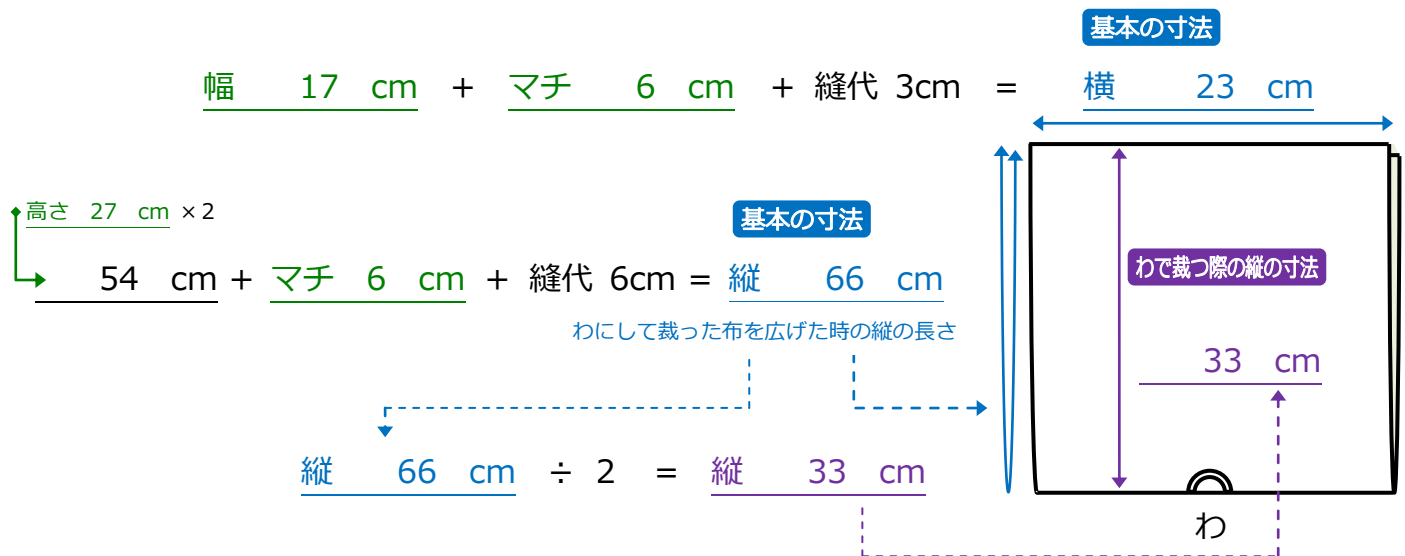
切替ありのとき

A と B を足した値が高さに等しくなるよう分配する。

基本の寸法 うら袋用

柄に向きがない布の計算 わにして裁つ (裏袋はこの裁ち方を推奨)

- ここで計算した値が「基本の寸法」になります。布を縫い合わせる必要がある場合、布をはぎ合わせた後の縦の寸法は「基本の寸法」に等しくなります。横の寸法は共通です。
- 「わ」とは布を2つに折り畳んだ際の折山の部分です。布を中表に畳んだ状態で裁断します。



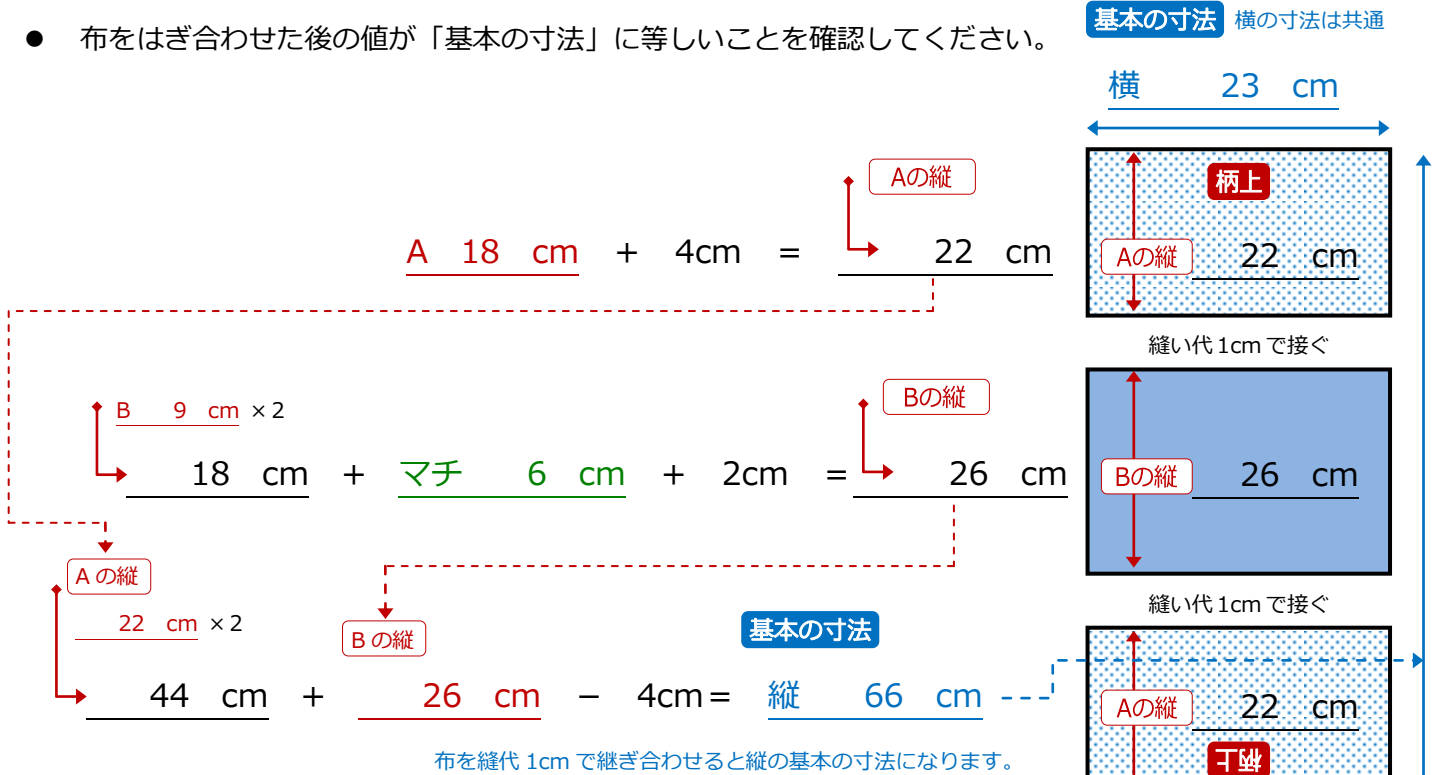
持ち手 10cm + 持ち手 30cm = カバンテープ 40cm と Dカン 1個

※Dカンはカバンテープの幅にあったものを準備。持ち手を布で作る場合はサイト参照。

表袋用

布を切り替える際の布の配分

- それぞれの布を寸法どおりに裁断し、縫代 1cm で縫い合わせます。
縫い代は布B側に倒し、Bの端から1~2mmの位置に表からミシンで押さえのステッチを入れてください。
- Aの生地に柄がある場合、柄の向きに注意してください。(図参照)
Bには無地やチェックなど、柄に上下のない生地を選んでください。
- 布をはぎ合わせた後の値が「基本の寸法」に等しいことを確認してください。



布の裁断例 レッスンバッグとシューズバッグを同じ生地で作る場合

